





第50回定期第1回常任委員会  
が09年12月8日、総会事  
務所のある日本基督教団の  
会議室Bにて開催された。

## 第1回常任委員会を開催

### 『韓国併合100年』の態度表明を決議

第50回定期第1回常任委員会が09年12月8日、総会事務局のある日本基督教団の会議室Bにて開催された。会議室Bにて開催された。総会長の崔崇信牧師の司会のもと、聖書エゼキエル37章1-10を奉読し、「このように預言せよ」という開会説教の後、引き続き会務を進行した。

第50回定期総会の会議録は確認を、次の常任委員会の承認を受けることとした。各地方会と委員会などの報告を受けた。主要決定

事項は次の通りである。

1、歴史編纂委員会から提案された「日本による『韓国併合100年』(2010年)について『KCCJの態度表明』を発表することに関して、神学考証委員会がその骨組みを社会委員会および歴史編纂委員会と協力して作成することとした。また『福音新聞』などに載せる場合、ハンゲルの文も載せることを確認した。日本基督教団と歴史共同研究委員会を設置する件に関して、設置することと、そして委員の選定は、歴史編纂委員長と総幹事に委任することとした。

2、日本キリスト教会か

09年11月23日、西部地方会の三次教会において牧師委任式が執り行われた。三次教会は山々に囲まれ、三つの川が流れている静かな田舎の教会であるが、地方会や近隣の日本キリスト教会から多くの牧師、長老、信徒たちが参席し、賑やかな祝会になった。

## 三次教会 李元泳牧師の委任式挙行

### 今後の活躍に期待

臨時堂会長である中江洋一牧師(広島)の司会のもと、総会書記である権寧国牧師(神戸)が祈り、総会牧師(武庫川)による説教を通して多くの励ましが与えられた。また神戸教会の

信徒たちによる特別讃美が行われ、皆大喜びで恵まれた。

委任式は地方会会長である裴明徳牧師(神戸東部)の司式で行われた。初めに地方会から委任記念牌を授与した。川西教会の李相勤牧師と神戸教会の尹聖哲長

老により励ましをいただいた。その後、総会を代表して洪性完総幹事、地方会を代表して梁榮友牧師、日本キリスト教団を代表して塚本千代子さんの祝辞をいただいた。

李元泳牧師は、神様と牧師、信徒たちに感謝を表し、全ての感謝の気持ちを込めて讃美を歌った。日本キリスト教団との宣教協力や自立教会を目指す活動など、今後の活躍が期待される。

(報告: 李元泳牧師)



## 歴史コラム85 宣教50周年期

### キリストに従ってこの世へ

李 清 一(歴史編纂委員会)



写真: 宣教60周年記念に使用された記念スタンプ

在日大韓基督教会(KCCJ)が、宣教60周年を1968年に迎えるにあたり、1年の準備期間の後に採択した60周年期(68-77年)の主題は、「キリストに従ってこの世へ」であった。この主題のもと、「教会に革新を」「同胞社会に変革を」「世界に希望を」という目標が設定された。これらの主題と目標は、戦後のKCCJの神学的反省から当初、実行委員会が草案として考えられていた主題は、「在日僑胞60万をキリストへ」であり、宣教70周年を目標に教勢の倍加運動などがあげられていた。この草案が、「キリストに従ってこの世へ」という主題に変わったのは、戦後のKCCJの歩みに対する神学的反省があったからである。

世界の中ですでに行われている神の働きに参与することとが教会の宣教であるとの考えである。KCCJは、60周年の主題のもと、在日コリアンをはじめとした日本社会における最も小さくされた者の苦難を共にされ、聖書を学び、在日同胞の置かれた状況に目を注ぎつつ、神学的な取り組みをしようとしたのである。

宣教60周年記念大会は、1968年10月11日、大阪女学院ホールチャペルで挙行され、ゲストを含めて1300名が全国から参集した。記念大会の説教は呉允台総会長が行い、過去60年間を振り返った後、今後60年を展望する中で、KCCJは「イエスの十字架を負い、當分の外へ(ヘブル13:13)と出て行くべきであると結んだ。

このような働きが開始されたきっかけとしては、カナダ長老教会の短期宣教教師として、1968年8月から5カ月にわたって赴任したM・ランサム牧師による宣教課題の実践を担うセンターとして、大阪に在り、分析がKCCJの指導者たちに与えたインパクトも大きかった。ランサム牧師は、KCCJと在日コリアン社会との関係について調査をした後に、KCCJは「中央機構が過重でもって、地方や個教会は僑胞社会の周辺にも行きついでいない」と述べている。

1973年10月にKCCJは、「宣教基本政策」を採択することによって、宣教の基本的課題を明確にした。その前文では、「解放直後、教会を再建するあまり、変革と新しい形成をなすべき時期にあった民族の苦悩を、己のそれとして担うことをしなかつた」と率直に告白し、主なる神と在日同胞の前に教しを乞うている。

さらにKCCJは、これらの宣教課題の実践を担うセンターとして、大阪に在り、分析がKCCJの指導者たちに与えたインパクトも大きかった。ランサム牧師は、KCCJと在日コリアン社会との関係について調査をした後に、KCCJは「中央機構が過重でもって、地方や個教会は僑胞社会の周辺にも行きついでいない」と述べている。

1973年10月にKCCJは、「宣教基本政策」を採択することによって、宣教の基本的課題を明確にした。その前文では、「解放直後、教会を再建するあまり、変革と新しい形成をなすべき時期にあった民族の苦悩を、己のそれとして担うことをしなかつた」と率直に告白し、主なる神と在日同胞の前に教しを乞うている。

さらにKCCJは、これらの宣教課題の実践を担うセンターとして、大阪に在り、分析がKCCJの指導者たちに与えたインパクトも大きかった。ランサム牧師は、KCCJと在日コリアン社会との関係について調査をした後に、KCCJは「中央機構が過重でもって、地方や個教会は僑胞社会の周辺にも行きついでいない」と述べている。

### 港国際法律事務所

横浜市西区北幸2-3-19 日総第8ビル4階

1人で悩まずに、ご相談下さい。

代表弁護士  
荒井 玄 先生 (横浜弁護士会)  
東京大学法学部卒

※業務内容

- 1) 企業法務
  - M&A
  - 企業買収
  - 企業再生
- 2) 個人法務
  - 債務整理
  - 相続・離婚
  - 金融被害

〒220-0004 横浜市西区北幸2-3-19  
TEL: 045-628-9311  
FAX: 045-311-8544  
URL: www.minatolaw.biz/

まずはお気軽に 24時間受付  
お問合せ下さい 0120-980-428

### 不動産管理

## アルカンシェル名駅

李 光 世  
(名古屋教会 長老)

〒453-0013 名古屋市中村区亀島2-2-27  
電話・FAX 052-451-7713  
携 帯 090-3578-7571  
E-mail: kwangse.lee@nifty.com

### 株式会社 ニューキング 愛

取締役社長 李 鍾 善  
(名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1  
TEL (0593) 31-4771(代)

三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1  
TEL (0564) 31-8893(代)



## 西部女性連合会修養会開催

### 「良い教会・良い働き人」テーマに講演

西部地方教会女性連合会(会)を講師に迎えて開催された。参加者は牧師8名を含む76人であった。また、09年11月4日、5日、神戸のシーバル須磨で、鄭弼禔牧師(韓国釜山水宮路教牧師)が参加して良い交わりができた。



開会礼拝は姜良姫副会長の司会です。鄭弼禔牧師より「恵みを受ける為には」(ヤコブ4:5-6)というメッセージと李聖雨牧師の祝詞で終わった。講師の鄭弼禔牧師が「良い教会、良い働き人」と題し、いかなる時でも神さまを信頼し、祈ることの大変さとそれが良い教会、良い働き人の条件であると悟らせてくださった。

2日目の朝礼拝では、「良い教会、良い働き人」と題し、いかなる時でも神さまを信頼し、祈ることの大変さとそれが良い教会、良い働き人の条件であると悟らせてくださった。主題講演3では「神様が信仰の人を喜ぶ理由」(ヘブル11:5-6)と題し、

「良い教会、良い働き人」と題し、いかなる時でも神さまを信頼し、祈ることの大変さとそれが良い教会、良い働き人の条件であると悟らせてくださった。

## 日本キリスト教会が『旧約新約聖書講解』を出版

宣教師協約を結んで12周年を迎えた、わたしたちの兄弟、日本キリスト教会が、信徒のための聖書講解を出版した。09年、教会創立60周年を迎える日本キリスト教会の記念出版でもある。その特徴は、「神の救いの恵みを学ぶ」ことを目的として、創世記から使徒言行録まで、



「通読の手引き」が用意されている。各講解は、聖書本文の註解、背景説明、要約、指針、小説教(二つ)からなっている。それぞれの箇所がアイコン(絵文字)で表示され、さらに豊富な地図、写真、イラストによって、視覚的にも理解が深められる。さまざまな工夫が満載である。「旧約新約聖書講解」は、定価9240円であるが、宣教師協約を結んでいるわたしたち在日大韓基督教教会の会員には、6000円で販売してくれるということがある。購入希望の方は、日本キリスト教会大会教育委員会(電話092-5211712)まで。

## 南会 西地 クリスマス音楽礼拝開催

### 女性連合会と青年連合会が合同で



09年12月13日、西南地方教会女性連合会と青年連合会が、折尾教会において開催された。地方教会10教会中9教会から約110名が集まった。第一部の礼拝では、朗読と讃美の形式をとり、各教会がそれぞれ朗読を担当した。連合女性会の姜富子会長の司会のもと、岸本真

理子青年部長のナレーションで、静かに、おそかに、参加者一同、約2000年前の一番最初のクリスマスへとさなわれた。途中、女性会、青年会の代表による聖書朗読、連合聖歌隊による讃美が行われ、折尾教会の鄭守煥牧師による「エッセイの株から出た若枝」(イザヤ11:1-5)と題するメッセージがあった。

毎年知恵をしばらくつづも、練習不足でいつも不安の中の出発はあるが、主は各教会の私たちが互いに協力し合い、精一杯できるように、いつも豊かに働いて下さり、力を備えて下さる。本当にこの祝福に、感謝である。最後に総会長である崔榮信牧師の祝詞をもつて礼拝を終えた。

**YMCA** 在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して  
2006年4月25日、創立100周年を迎えました。

◆東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル)：フロントは日・韓・英語に対応、24時間サービス。10名様から220名様のご来賓及び宿泊研修(50名様)も可能。

◆スペースワイホール：220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適

◆韓国文化(チャン・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種子どもクラス

◆YMCAアジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

**在日韓国YMCA**  
<http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国YMCAアジア青少年センター  
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633

関西韓国YMCAアジア青少年センター  
〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

## 2010年度 宣教師・総会神学生 集中講座および研修会

日時：2010年3月8日(月)～12日(金)  
場所：西南KCC  
研修内容：「総会憲法」「九州在日の歴史」「総会(KCCJ)の宣教課題」西南地方教会各教会の現場研修など  
講師：西南地方教会牧師など  
参加費用：宣教師2万円 総会神学生1万円(交通費は各教会で補助)  
※ 各地方会で登録している総会神学生は必修です。  
問い合わせ：韓聖煥牧師(03-3890-3365)

## 在日大韓基督教教会立 在日総会神学校 2010年度 学生募集案内

本校は、一般教育を終了した者が、専門語学、聖書神学、歴史神学、組織神学、実践神学、KCCJ神学を含め、牧会神学の六領域の学びを統合的に修めながら、現代の、特に在日同胞社会の多様性に十分対応できる伝道者の養成を目指す神学校です。

- 募集人員：①神大生(3年課程、及び2年課程)若干名
- 出願資格：①受洗後、1年以上であること。  
②在日大韓基督教教会の正会員(但し、他教団出身者は要面接)。  
③伝道者への召命感があること。  
④一般大学卒業生および他神学校卒業生
- 出願期間：2009年12月1日(火)～2010年1月31日(日)
- 提出書類：①入学願書(本校所定の用紙)②志望理由書(400字5枚)③履歴書(本校所定の用紙)④推薦状(所属教会の牧師または代表)

- 最終学校の卒業証明書 ⑥最終学校の成績証明書 ⑦写真2枚
- 試験：①試験日時：2010年2月23日(火) 午前10時～  
②試験会場：総会神学校(東京都足立区西新井本町4-5-1 TEL 03-3899-9861)  
③試験科目：聖書、英語、面接  
④受験料：5,000円  
⑤合格発表：2010年3月5日(金) 書面にて通知
- 募集学科  
①本科：出願資格参照。但し、在日大韓基督教教会の正会員として他の神学校を卒業し、在日大韓基督教教会の試験の受験を志願する者は、校長の推薦を得て本校にて1年以上の修学のために入学しなければならない。加入宣教師の場合も同様である。
- 受講時間：月曜日から金曜日9:00～17:50
- 寄宿舎が完備されています。  
(教務 韓聖煥牧師：TEL03-3890-3365、携帯電話080-3355-3890、godlove1953@ybb.ne.jp)